学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Webマーケティング実践Ⅱ		（ NGM20D ）
講義名（コード）	Webマーケティング実践Ⅱ		（ NGM20DX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	ryui	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	前期に引き続き、現実にある課題のマーケティングを実践する。企画から実行、評価までの一連の流れを理解できる。
全体の内容と概要	後期は、全員で一つの課題に取り組む。組織的な活動ができることを目指す。
授業時間外の学修	オンラインの活動
履修上の注意事項等	社会人として活動する

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	全体課題C　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
2	全体課題C　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
3	全体課題C　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
4	全体課題C　実践の評価、検証	作業をまとめることができる
5	全体課題C　実践内容の発表	作業の内容や評価について説明できる
6	全体課題Dの設定	全員で取り組む新しい課題を設定、作業計画を立てるすることができる
7	全体課題D　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
8	全体課題D　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
9	全体課題D　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
10	全体課題D　実践の評価、検証<中間>	作業をまとめることができる
11	全体課題D　実践内容の発表<中間>	作業の内容や評価について説明できる
12	全体課題D　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
13	全体課題D　マーケティング実践	協働して課題の作業ができる
14	全体課題D　実践の評価、検証	作業の内容や評価について説明できる
15	まとめ	年間の実践内容について意見交換、次の課題設定ができる

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	WebデザインⅣ		（ NGM20B ）
講義名（コード）	WebデザインⅣ		（ NGM20BX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野　泰雄・水野　翔	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	Wordpressを使ってホームページ作成のデザイン・制作・webサーバー管理などを任せられ人になる
全体の内容と概要	自分自身の将来の希望先の企業などのwebサイトを仮に作成して自信をつける
授業時間外の学修	1年次に作成したMywebページを随時更新管理
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Wordpressを再確認	前期のWordpressの基礎のおさらいと疑問点の解消
2	webサイトの管理者になる　1	webサイトやサーバーなどの通常運営管理を学ぶ
3	webサイトの管理者になる　2	前提知識として、レンタルサーバー・独自ドメイン・などの覚える
4	独自サイトを作成・運用　1	自身の就職先や好きな企業・NBLのサイトを分析し、リニューアル案を企画する
5	独自サイトを作成・運用　2	サイトを分析後、リニューアル案をデザインする
6	独自サイトを作成・運用　3	リニューアルデザインをコーディングしてweb制作
7	独自サイトを作成・運用　4	リニューアルデザインをコーディングしてweb制作
8	独自サイトを作成・運用　5	web Tipsの解説とweb制作上の質問・疑問点解消
9	独自サイトを作成・運用　6	リニューアルデザインサイト中間発表とバージョンアップ批評会
10	独自サイトを作成・運用　7	リニューアルデザインをコーディングしてweb制作
11	独自サイトを作成・運用　8	リニューアルデザインをコーディングしてweb制作
12	独自サイトを作成・運用　9	リニューアルサイトプレゼンテーションと批評会
13	独自サイトを作成・運用　10	リニューアルサイトプレゼンテーションと批評会
14	まとめと解説	インターネットの未来を考える
15	まとめと解説	みんなでディスカッションと贈る言葉

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	グラフィックデザイン応用Ⅱ		（ NGM20H ）
講義名（コード）	グラフィックデザイン応用Ⅱ		（ NGM20HX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野　泰雄・水野　翔	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	（有）デザインルームエム	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	マルチデバイス時代のインターフェース設計・デザインを覚えてAdobe Illustrator・Photoshopを実践出来る人へ
全体の内容と概要	使いやすい・分かりやすい・伝わるデザインを目的に様々なデザインやツールを学ぶ
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	Adobe Illustrator・Photoshopなどの認定試験(予定)

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	広告・デザインの仕組みを覚える	広告・デザインを作成すための考える力をつける心理効果を学ぶ
2	心理効果を実践例で覚える　1	webサイト・LP・ポスター・名刺などの使用例を使って学ぶ
3	心理効果を実践例で覚える　2	Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践
4	心理効果を実践例で覚える　3	注意喚起：やってはいけない心理学を悪用したデザイン
5	デザインに使える心理効果を覚える　1	ハロー効果からトンネル効果・文脈効果などを順次説明
6	デザインに使える心理効果を覚える　2	Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践
7	錯視効果のでデザイン効果を覚える　1	ムンカー錯視からクレーター錯視効果などを順次説明
8	錯視効果のでデザイン効果を覚える　2	Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践
9	五感に左右する色彩効果を覚える　1	暖色に寒色・色が臭覚まで左右することを順次説明
10	五感に左右する色彩効果を覚える　2	Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践
11	情報を認識するレイアウト効果を覚える　1	F・Zの法則や近接法則など脳がどの様に認識するかを順次説明
12	情報を認識するレイアウト効果を覚える　2	Adobe Illustrator・Photoshopで制作実践
13	最強のデザイン構図を覚える	世界で最も美しい構図「黄金比」を覚えて使える様にする
14	まとめと解説	Adobe Illustrator・Photoshopなどの認定試験について(1になる可能性あり)
15	まとめと解説	みんなでディスカッションと贈る言葉

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	Adobe Illustrator・Photoshopなどの認定試験(予定)

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	UX／UIデザインⅡ		（ NGM20J ）
講義名（コード）	UX／UIデザインⅡ		（ NGM20JX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野泰雄・長谷川　胖	時間数	30
成績評価教員	水野泰雄・長谷川　胖	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	UIやUXの使いやすい理由とセールスマーケティングの関係を再構築し、実物・実験・体験・現実・過去を体験する事で自分が社会でマーケッターとして活躍出来るスキルを身につける
全体の内容と概要	基礎の基のおさらいとマーケッターと言う職業の実態を再構築し、撮影などの実践を通して重要視されている優れたUI・UXのインターフェース設計を実践する
授業時間外の学修	マーケティングを意識して世の中を見て、疑問を持ちそれらの課題を探し自身での課題解決を考えてみる
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。

	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	情報って何だ？情報の意味と捉え方の勉強で情報の取り扱い方を学ぶ	SNS上での気になるもの　　言われて気が付く　言われなければ気が付かなかった　UIやUXが重要視される理由　それぞれのデバイスの差が大きく、デバイスごとの見やすいUIを意識する場面
2	情報の分類について考えて分類してみる　溢れる情報の中から必要な情報選出を学ぶ	意識して観ると情報の種類の多さに気が付くUI・UXとはユーザーが考えずに操作できるもので、サービスや商品の利用率へ影響
3	視覚から入る多い情報を考える事でWeb マーケティングを勉強する	人に情報がどう伝わるのかを考える　目から入る情報の多さとその分類考えずに操作させるのがUI・UXの理想
4	聴覚から入る多い情報を考える事でWeb マーケティングを勉強する	人に情報がどう伝わるのかを考える音楽から情景が見えるか？音から恐怖を感じるか？
5	体感・雰囲気・気配・ほか感覚から入る情報を人がどう処理してるかを考える力を持	人に情報がどう伝わるのかを考え、商品撮影・製品撮影の違いを実践
6	解りやすさ・使いやすさ・ユーザー目線の大事さの勉強	「おしゃれなデザインにしたい」と作ったものが、ユーザーにとって使いにくいもの
7	写真を見る力・撮影する力を学ぶ	視覚から入る情報の理解力そこからの発想力を自ら実践で覚える
8	動画何の気になしに見せられている情報のあり方に付いて考え方を学ぶ	ユーザーが一度に目にする情報の量が多過ぎないことWebページの閲覧では「Fの法則」UI
9	印刷物・ポスター・フライス・WEB・TV	メディアミックス　優れたUI・UXとは　見にくい、わかりにくい　PC・スマートフォンやタブレット　　ターゲットの絞り込み
10	アイディアの裏付けとユーザーが優れたUI・UXだと感じるのは？を学ぶ	新しいものを考える・実行する・失敗する・成功するもの
11	企業が業務効率アップためにシステムを導入する際は、UI・UXが最重要課題学ぶ	難題の解決・人との協力　温故知新を知るとは
12	今までの授業の総決算　　個々が考え・決定・実行・制作etc.	質問あり・実践・プラン・写真・動画・ポスター・チラシ・立体物・イベント　なんでもあり？
13	今までの授業の総決算　　個々が考え・決定・実行・制作etc.	実践あり・質問あり・なんでもあり？
14	今までの授業の総決算　　個々が考え・決定・実行・制作etc.	実践あり・質問あり・なんでもあり？
15	まとめと解説	生徒全員がUI・UXを通じて社会の課題解決について発表し考える

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	グーグルアナリティクス概論Ⅰ		（ NGM20L ）
講義名（コード）	グーグルアナリティクス概論Ⅰ		（ NGM20LX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉田　達矢	時間数	30
成績評価教員	吉田　達矢	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	前期に学修した基礎を用いてGoogleアナリスティクスの実践を行う
全体の内容と概要	概論だが教科書をつかって実際の操作を体験する
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	前期の振り返り	前期授業の振り返りと見直し、後期の進め方の説明
2	NBLのアクセスログにログインできるようになる	GoogleアカウントでNBLのアクセスログを閲覧できるようになる
3	アナリスティクスのデータの意味を理解する	アクセスログのサマリーの見え方と、そのサマリーの意味を説明
4	アナリスティクスのデータの意味を理解して説明できる	自分なりのデータを取得する「データ探索」機能について学ぶ
5	アナリスティクスの設定を理解する	アクセスログを取得するためのタグの埋め込み方法 取得できているかの確認
6	searchconsoleの役割を 説明できる	search consoleの役割の復習（SEOの授業の抜粋） アナリスティクスと連携することの大事さ
7	Sitemap.xmlについて	Googleが効率よく検索するためのsitemap.xmlについて どうやって作成するか
8	ここまでの振り返り	後半やることを踏まえて、もう一度おさらい
9	アナリスティクスの運用方法を説明できる	WEBサービスやECサイトなどにおける、アナリスティクスの運用方法 「現状分析・C→運用計画・P→改善の実施；A→結果」の調査検証のCPAサイクルを学ぶ
10	アナリスティクスを読み取って状況の説明ができる	CPAサイクルの最初のC チームに分かれて、NBLのサイトの分析レポートを作る
11	アナリスティクスのデータからWEBサイトの改善策を提案する	CPAサイクルの次のP チームごとに分析レポートをベースに改善策を考える
12	改善策のプレゼンをつくる	CPAサイクルの最後のA チームごとに現状分析→目指すべきゴールのプレゼンを実施
13	広告の必要性を理解する	アナリスティクスによる分析とコンテンツなどの改善案だけでは、できないことについて 広告を出すことの目的と価値について
14	検索広告を理解する	検索広告をシュミレーションしてみる
15	後期振り返り	後期の振り返りと試験について

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	講師が管理するWEBサイトのアナリスティクスデータ いちばんやさしいGoogleアナリティクス4の教本（インプレス）
備考	NBLのWEBサイトのアナリスティクスデータへのアクセス権が必要

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Web広告		（ NGM20M ）
講義名（コード）	Web広告		（ NGM20MX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	吉田　達矢	時間数	30
成績評価教員	吉田　達矢	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	WEBやSNSをつかったオンライン広告のしくみを理解して広告出稿ができるようになる
全体の内容と概要	WEB広告の種類とそのしくみの理解と効果検証
授業時間外の学修	日常的に見るSNSの広告で気になったものを記録する
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	WEB広告とはなにかを理解する	WEB広告の種類と実例の紹介 SEOと広告の関係と互いのメリットデメリットの説明
2	広告の目的と目標と対象を理解する	WEBマーケティングを活かして広告は考える 広告と宣伝を混同しない、広告と宣伝では役割がちがう 目的、目標、対象についての説明
3	コンテンツ広告について理解する	コンテンツ広告（ペイドパブ）とはなにか？ コンテンツ広告の実例をみる
4	広告戦略とはなにかを理解する	広告は点で考えないで、つながり（線）と効果（面）を考慮して作戦をたてる 広報と広告を併用してはじめて十分な効果が得られる
5	広告戦略の作り方を理解する ※以後グループワーク	マーケティング視点の振り返る マーケティングトライアル広告について（広告をつかって市場調査する） 具体的な商品を例に考えて、誰に（対象者）、なにを（目的）、どうつたえるか（目標）を時系列で考える。
6	広告戦略を作れるようになる	グループで前回考えた広告戦略を各グループごとに発表 互いに評価しあう
7	中間まとめ	前半の振り返りと後半でやることの説明
8	広告のLPを理解する	WEB広告はあくまで見出しとして考え、その受け先としてのLPが必要 LPの作り方のセオリーについて
9	広告クリエイティブを理解する	戦略にあった広告クリエイティブの作りかた クリエイティブを種類をつくる必要性
10	WEB広告を実際に作成できる	Instagramで広告を出稿する前提で具体的な広告をつくる 以前建てた戦略にのとってクリエイティブを作成（LPもつくる）
11	Instagramに広告出稿できるようになる	Metaの広告ツールをつかってインスタグラムに広告出稿をする インサイトの見方の説明
12	広告効果の検証を理解する	前回授業で出稿した広告の効果検証をおこなう（LPの効果検証も含む） 次回広告にむけての改善ポイントの検討
13	広告を改善して再出稿できる	グループで広告の再出稿にむけての改善点の発表と共有 広告の再出稿で変更するところと確認して、再出稿
14	広告効果の最終検証ができる	再出稿を含めた広告効果の検証レポートの書き方について 各チームでレポートをまとめて発表
15	最終まとめ	授業の振り返りと試験について

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	講師の担当した広告レポートの共有
備考	LPの設定先やインスグラムの広告アカウントの設定

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	e-コマースⅡ		（ NGM20P ）
講義名（コード）	e-コマースⅡ		（ NGM20PX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	Ryui	時間数	30
成績評価教員	Ryui	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	前期で学んだことを活かし、実践感覚を身に付ける。『とりあえずやってみる』のチャレンジ精神を育みます。
全体の内容と概要	実際にメルカリを使用したり上田市で行われるイベントに出店し本業及び副業でできるように実践感覚を身に付ける。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	イベントに出店するにはを理解できるようになる。	イベントに何を出品するか話し合う。
2	出店計画を立てれるようになる。	前回に引き続き話し合い。
3	計画に基づいて行動できるようになる。	出店・出品準備及び制作する。
4	計画に基づいて行動できるようになる。	出店・出品準備及び制作する。
5	計画に基づいて行動できるようになる。	出店・出品準備及び制作する。
6	計画に基づいて行動できるようになる。	出店・出品準備及び制作する。
7	出店の最終確認が理解できるようになる。	出店に向けて最終確認する。
8	出店し終えての課題を見つけることができる。	実施に出店し終えての感想を発表する。
9	復習することで再確認することができる。	１年次後期、2年次前期の復習として自宅に眠る不用品をメルカリで出品する。
10	問題点を見つけ進化させることができる。	コピーライティングやセールスライティング、商品撮影など総復習する。
11	生徒一人一人がスムーズに出品できるようになる。	出品作業に取り掛かり、準備ができ次第出品する。
12	生徒一人一人がスムーズに出品できるようになる。	出品作業に取り掛かり、準備ができ次第出品する。
13	結果を検証し次につなげることができる。	出品した結果を発表し検証する。
14	新社会人を狙う詐欺を理解できるようになる。	新社会人や情報弱者を狙う詐欺と対策を解説する。
15	開店に必要な免許や許可証がわかるようになる。	開店・開業するのに免許や許可証が必要だということを解説する。

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	クリエイティブデザインⅡ		（ NGM20R ）
講義名（コード）	クリエイティブデザインⅡ		（ NGM20RX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野　泰雄・長谷川　胖	時間数	30
成績評価教員	水野　泰雄・長谷川　胖	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	自分をどう表現するか、自分の考えをどう伝えるか
全体の内容と概要	広告制作・クリエイティブプロセスの変化と画像生成AIの登場で変わる広告制作・コンプライアンスについて知る
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	実制作・写真映像・SNS・印刷物・ほか	前期学習した内容を使った実践授業、コンテンツを制作する
2	実制作・写真映像・SNS・印刷物・ほか	前期学習した内容を使った実践授業、コンテンツを制作する
3	実制作・写真映像・SNS・印刷物・ほか	前期学習した内容を使った実践授業、コンテンツを制作する
4	実制作・写真映像・SNS・印刷物・ほか	前期学習した内容を使った実践授業、コンテンツを制作する
5	実制作・写真映像・SNS・印刷物・ほか	前期学習した内容を使った実践授業、コンテンツを制作する
6	制作物発表	クラスメイトの制作物を鑑賞、相互にフィードバックを実施するとともに自身の制作物をより効果的に魅せるためのプレゼンテーション能力も養う
7	制作物発表	クラスメイトの制作物を鑑賞、相互にフィードバックを実施するとともに自身の制作物をより効果的に魅せるためのプレゼンテーション能力も養う
8	制作物フィードバック	クラスメイトの制作物に相互にFBを行い新たな視点を養う
9	生成AI	生成AIをどのように扱うかを考える
10	コンプライアンスについて知る	企業ガバナンス・著作権・著作隣接権等を学ぶ
11	クリエイティブデザインを実施するうえでの最低限守るべきルールの理解	コンプライアンス、ネットリテラシーを養う
12	まとめ	まとめ
13	まろめ	まとめ
14	テスト	テスト
15	テストFB	テストFB

5．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	なし
参考文献・資料等	なし
備考	なし

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	コンテンツコミュニケーションⅡ		（ NGM21F ）
講義名（コード）	コンテンツコミュニケーションⅡ		（ NGM21FX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	水嵜　歩実	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	アナリティクスを使用した分析と、それを踏まえた投稿作成を繰り返し行うことで、継続の重要性と分析を踏まえた実践が身につくことを目標とします
全体の内容と概要	SNSのアナリティクス機能の基本と読み取り方を学び、またデータから分析を行って改善案の作成、それを踏まえた取材と投稿を繰り返し実践します
授業時間外の学修	取材・投稿作成が授業時間内で完了しなかった場合や推奨投稿時間の指定がある場合、授業時間外での作業を行っていただく場合があります
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	授業内容を理解し取材・投稿内容が作成できているか。また、指定した期日までに定めたコンテンツ作成を完了できるか。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	アナリティクスデータ分析の基本がわかる	後期の流れを確認したうえで、基礎となるSNSのアナリティクス機能を学ぶ。また、実際にデータから何が読み取れるかを考える。
2	データから仮説を立てる方法がわかる	アナリティクスを閲覧できるアカウントを題材にして、伸びた投稿と伸びなかった投稿を比較する。また、要因の仮説を立て、投稿計画を立てる。
3	分析を元に投稿計画を立てる方法がわかる	立てた仮説から投稿の絵コンテを作成し、投稿イメージから逆算してどういったイメージが必要かを踏まえた取材計画を立てる。
4	分析を踏まえた投稿の取材方法がわかる	分析・仮説を確認し、投稿イメージの絵コンテを作成。そこから逆算して必要なカットを検討し、それを踏まえた取材を行う。
5	分析結果を踏まえた投稿作成の方法がわかる	取材内容から、仮説に沿った投稿を作成する。また、反応が多かった投稿の良いポイント、反応が少なかった投稿の改善点を組み込む。
6	比較分析を行ったうえでプロフィールの改善方法がわかる	フォロワーを増やすために必要な分析・検証の方法と、フォローしたくなるプロフィール画面の構成・関連するデータの分析方法を学ぶ。
7	効果的な短尺縦長動画の投稿計画の立て方がわかる	前期に作成した短尺縦長動画のアナリティクスから、分析・仮説立てを行う。また、それを踏まえて新たな動画投稿イメージと取材計画を立てる。
8	仮説を立てたうえで、動画制作を前提とした取材方法がわかる	動画コンテンツ作成の際に注意するポイントと投稿イメージを確認した上で、スケジュールを立てて実際に取材を行う。
9	効果的な動画の構成とレイアウトとその作成方法がわかる	撮影した動画素材を使用して投稿を作成する。またその際、前期で作成した動画の改善点を確認し、それを組み込んだコンテンツ作成を行う。
10	ユーザーとのコミュニケーション戦略がわかる	ユーザーとのコミュニケーションの重要性と、コミュニケーションを誘発するための機能・工夫などを検討。それを組み込んだ投稿計画を立てる。
11	繰り返し分析・仮説検証をする重要性がわかる	短期で見たときの分析と、長期で見たときの分析の比較を行う。またそこから、目的に応じてどのような分析を行うのが最適かを検討する。
12	分析・仮説立てを行ったうえで効果的な取材をする方法がわかる	これまで学んだ内容の総まとめとして、過去の投稿の分析・仮説・検証・テクニックを踏まえた投稿・取材計画を立て、取材を行う。
13	1年の知識総まとめとなる投稿の作成方法がわかる	これまで学んだ内容の総まとめとして、1年間学んできた内容を踏まえて目的を見据えたコンテンツの作成を行う。
14	まとめ	1年のまとめとして、改善の余地があるビジネスアカウントを見つけ、それを題材とした客観的な分析・仮説・改善提案資料を作成する。
15	まとめ	改善提案資料のプレゼンテーションを行い、相互にフィードバックを行う。これをもって評価とする。

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	Canva 基本＆デザインTIPS！無限に役立つ使いこなしワザ152（マリエ著／技術評論社）
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	IT検定対策Ⅳ		（ NGM21T ）
講義名（コード）	IT検定対策Ⅳ		（ NGM21TX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	小松一雄	時間数	30
成績評価教員	デザインルームエム	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	IT検定対策の授業内容を踏まえ、ITパスポート試験合格のための 問題解答力をつけ、全員合格を目指す。
全体の内容と概要	ITパスポート試験の過去問について、プレゼン形式で問題演習を行う。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	期末テストを実施し、その点数を評価基準に用いる。 なお、ITパスポート試験の結果を成績評価に加味する。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	用語と概念の理解ができる	システム開発1: 経営戦略 経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ
2	用語と概念の理解ができる	トピックス1: 基礎理論
3	用語と概念の理解ができる	システム開発2: システム戦略 システム戦略、システム企画
4	用語と概念の理解ができる	トピックス2: コンピューターシステム
5	用語と概念の理解ができる	システム開発3: システム構築 システム開発技術
6	用語と概念の理解ができる	トピックス3: 技術要素
7	用語と概念の理解ができる	システム開発4: システム構築 システム開発技術
8	用語と概念の理解ができる	トピックス4: 企業と法務
9	用語と概念の理解ができる	システム開発5: システム構築 システム開発技術
10	IT活用の具体事例を理解し、説明できる	トピックス5: システム開発事例研究1
11	用語と概念の理解ができる	システム開発6: システム構築
12	IT活用の具体事例を理解し、説明できる	トピックス6: システム開発事例研究2
13	用語と概念の理解ができる	システム開発7: システム構築
14	IT活用の具体事例を理解し、説明できる	トピックス7: システム開発事例研究3
15	IT活用の全体像を説明できる	まとめ

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	ITパスポート合格教本、ITパスポートパーフェクトラーニング過去問題集
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	キャリアデザインⅣ		（ NKT23I ）
講義名（コード）	キャリアデザインⅣA		（ NKT23IA ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	髙木　良幸	時間数	30
成績評価教員	髙木　良幸	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	キャリアコンサルタント・公共職業安定所勤務経験	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会＆面接会参加（WEB含む）
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	授業内容の理解	【オリエンテーション】講師紹介後期の内容について説明、心構え 【演習】進路調査　Cam-J　進路希望、希望職種、ガイダンス予約
2	インターンシップの振り返りができる	【インターンシップ】インターンシップについての復習 【演習】インターンシップの反省キャリア面談、応募先企業シート作成
3	就職活動スケジュールが理解できる	【就職情報説明】就職活動スケジュール、必要書類、スキル、準備物 【演習】キャリア面談　応募先企業シート作成
4	就職活動の計画が作成できる（１）	【行動計画立案】応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】キャリア面談　就職活動行動計画表作成
5	就職活動の計画が作成できる（２）	【行動計画立案】応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】キャリア面談　就職活動行動計画表作成
6	就職活動の計画が作成できる（３）	【行動計画立案】応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】キャリア面談　就職活動行動計画表作成
7	在留資格制度、申請について理解できる（１）	【在留資格】就職在留資格制度、特定活動について説明、必要書類説明 【演習】在留資格変更申請書記入、準備物確認
8	在留資格制度、申請について理解できる（２）	【在留資格】就職在留資格制度、特定活動について説明、必要書類説明 【演習】在留資格変更申請書記入、準備物確認
9	就職内定先企業への提出書類について理解できる（１）	【内定書類】就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など 【演習】内定書類記入　誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印
10	就職内定先企業への提出書類について理解できる（２）	【内定書類】就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など 【演習】内定書類記入　誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印
11	入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。（１）	【研修】研修の目的、研修内容、研修への関わり方 【演習】仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文　キャリア面談
12	入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。（２）	【入社前研修】入社時書類、労働条件（給料、時間、休日、勤務地） 【演習】仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文　キャリア面談
13	日本企業の仕事について理解できる。（１）	【日本の企業】１日、１か月、１年間の仕事の流れ 【演習】仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文　キャリア面談
14	まとめと対策	【テスト】記述式 【テスト】回収
15	まとめと対策	【テスト返却】フィードバックと解説 【振り返り】講義の振り返り、まとめ

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	留学生：『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク） 日本人：就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス英語Ⅳ		（ NKT24B ）
講義名（コード）	ビジネス英語ⅣB		（ NKT24BB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野　恵	時間数	30
成績評価教員	高野　恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄	なし	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネス英語特有の表現、語彙を習得し、ビジネスシーンで使える英語を身につける。
全体の内容と概要	リスニング、スピーキングの練習を中心にコミュニケーション能力向上を図る。
授業時間外の学修	新しい語彙・フレーズの復習をし、会話文の音読練習をする。
履修上の注意事項等	クラスアクティビティに積極的に参加することが求められます。

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	【海外出張】ホテルでのやり取りができるようになる	ホテルでのやり取りの仕方を学び練習する。
2	【海外出張】レストランで注文ができるようになる	レストランでの注文の仕方を学び練習する。
3	【海外出張】交通機関の利用・食事の買い出し等ができるようになる	交通機関の利用や食事の買い出しなどを練習する。
4	1～3回目 【海外出張】 の復習	様々な場面を想定して練習する。
5	【打ち合わせ】商談を行えるようになる	商談の仕方を学びペアで練習する。
6	【打ち合わせ】お客様の予約を取れるようになる	お客様の予約の取り方を学びペアで練習する。
7	同僚とスモールトークすることができるようになる	同僚とスモールトークできるように練習する。
8	5～7回目の復習	様々な場面を想定して練習する。
9	苦情を言うことができ、対処することができるようになる	苦情の伝え方と対処方法を学び練習する。
10	面接の対応ができるようになる	面接対応の仕方を練習する。
11	仕事を依頼し、支持することができるようになる	仕事を依頼し、指示できるようになる練習をする
12	９～11回目の復習	様々な場面を想定して練習する。
13	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストＦＢ

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	新装版 即戦力がつくビジネス英会話
参考文献・資料等	英会話フレーズ大特訓ビジネス編、ゼロからスタートしごとの英会話、本当に必要な社内英語、Business as Usual
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	卒業研究		（ NKT24G ）
講義名（コード）	卒業研究J		（ NKT24GI ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	堀内　美穂	時間数	30
成績評価教員	堀内　美穂	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	2年間の学びをまとめた卒業発表を完成させる。課題抽出力、創造力、問題解決力、プレゼン力を生かし、ビジネスの場に活用できるスキルを磨く。
全体の内容と概要	今まで学習したことを振り返り、さらにそれについて知識を深めたり、PPTを使用しプレゼンテーション練習も行う。
授業時間外の学修	準備のため授業外でも進めていくようにする。
履修上の注意事項等	特になし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	卒業発表についての流れを知る。	卒業発表準備についての流れを説明。興味のあるテーマをあげてみる。
2	自分が興味のあるテーマを探し、発表の内容について具体化できる。	今まで学んだ内容に沿った興味のあるテーマを探す。
3	自分が興味のあるテーマを探し、発表の内容について具体化できる。	内容についてのOUTLINE作成。
4	発表の内容について具体化できる。	内容についてのOUTLINE作成。
5	内容についての情報収集ができる。	内容についての研究、課題抽出、リサーチ等を行う。
6	内容についての情報収集ができる。	内容についての研究、課題抽出、リサーチ等を行う。
7	卒業発表のため今まで学習した知識を更に深く考察することができる①	研究、リサーチした内容をまとめ、PPT作成を始める。
8	卒業発表のため今まで学習した知識を更に深く考察することができる②	研究、リサーチした内容をまとめ、PPT作成を始める。
9	自分の言葉で表現することができる①	内容にあった写真やグラフ等を入れる。
10	自分の言葉で表現することができる②	PPTを完成させ,発表文を作成する。
11	自分の言葉で表現することができる③	PPTを完成させ,発表文を作成する。
12	自分の言葉で表現することができる④	PPTを完成させ,発表文を作成する。
13	自分の言葉で表現することができる⑤	リバーサルを行い内容について修正を入れる。
14	まとめと解説	修正箇所を見直し、時間を計ってリハーサルを行う。
15	まとめと解説	卒業発表の最終リハーサル

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	日本語コミュニケーションⅣ		（ NKT24K ）
講義名（コード）	日本語コミュニケーションⅣ A		（ NKT24KA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	小須田　代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田　代吉	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる。また、日本人同士のスピーデイーな会話を聞き取ることができる。
全体の内容と概要	N1の読解、聴解の対策をしていく。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	実践問題が理解できる１２ いろいろなタイプの話を聞こう2	読解：統合理解　例題２６　聴解：指示を聞こう
2	実践問題が理解できる１３ いろいろなタイプの話を聞こう3	読解：統合理解　練習６０　聴解：説明を聞こう
3	実践問題が理解できる１４ いろいろなタイプの話を聞こう4	読解：統合理解　練習６１　聴解：テーマやいいたいことを聞こう
4	実践問題が理解できる１５ いろいろなタイプの話を聞こう5	読解：統合理解　練習６２　聴解：まとめ問題
5	実践問題が理解できる１６ いろいろな語彙や表現を覚えよう1	読解：統合理解　練習６３　聴解：よく聞くカタカナを覚えよう①
6	実践問題が理解できる１７ いろいろな語彙や表現を覚えよう2	読解：情報検索　例題２７　聴解：よく聞くカタカナを覚えよう②
7	実践問題が理解できる１８ いろいろな語彙や表現を覚えよう3	読解：情報検索　例題２８　聴解：よく聞くカタカナを覚えよう②
8	実践問題が理解できる１９ いろいろな語彙や表現を覚えよう4	読解：情報検索　練習６４　聴解：言い換えの言葉を覚えよう
9	実践問題が理解できる２０ いろいろな語彙や表現を覚えよう5	読解：情報検索　練習６５　聴解：よく聞く表現を覚えよう
10	実践問題が理解できる２１ いろいろな語彙や表現を覚えよう6	読解：情報検索　練習６６　聴解：まとめ問題
11	実践問題が理解できる２２ まとめ問題をやってみよう１	読解：情報検索　練習６７　聴解：総まとめ問題1
12	実践問題が理解できる２３ まとめ問題をやってみよう２	読解：情報検索　練習６８　聴解：総まとめ問題２
13	実践問題が理解できる２４ まとめ問題をやってみよう３	読解：情報検索　練習６９　聴解：総まとめ問題３
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テストFB

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	完全マスター読解N1　日本語総まとめN1
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	日本語資格対策Ⅳ		（ NKT24M ）
講義名（コード）	日本語資格対策Ⅳ A		（ NKT24MA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	小須田　代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田　代吉	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	古風な表現を使った小説や論説文、やや専門的な説明を理解できるようになる
全体の内容と概要	日常生活はもちろん交渉をしたり様々なやりとりができるような文法と語彙を学ぶ
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ジャンルの小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物	文法：~かと思いきや　～んがため　～のごとく　　文字語彙：文脈規定15回
2	ジャンルの小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物	文法：～にして　～だに　～～だにしなかった　文字語彙：文脈規定16回
3	ジャンルの小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物	文法：～かねる　～を限りに　CHECK　文字語彙：17回
4	ジャンルの小説を読んで、やや古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物	文法：まとめの問題　文字語彙：文脈規定17回
5	やや専門的な話を聞いて、その内容や発話者の意見が理解できる1	文法：～からいる　～にかかわる　～にあって　文字語彙：文脈規定18回
6	やや専門的な話を聞いて、その内容や発話者の意見が理解できる2	文法：～ようによって（は）　まとめの問題　文字語彙：文脈規定19回
7	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できる1	文法：～べからず　～のみ　～がゆえ　文字語彙：文脈規定20回
8	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できる2	文法：～と相まって　～にかたくない　　文字語彙：言い換え類義1回
9	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できる2	文法：～としてあるまじき　～ずにはすまない　　文字語彙：言い換え類義2回
10	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できる3	文法：～でなくてなんだろう　～極まりない　　文字語彙：言い換え類義3回
11	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できる4	文法：～を禁じえない　～にたる　文字語彙：言い換え類義4回
12	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できる5	文法：～べくもない　～なくして　文字語彙：言い換え類義5回
13	古風な表現を使った論説文を読んで、その表現に込められた筆者の主張が理解できる6	文法：CHECK　文字語彙：言い換え類義6回
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テストFB

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	ドリル＆ドリルN1文字語彙　　TRYN1
参考文献・資料等	
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス翻訳Ⅱ		（ NKT24O ）
講義名（コード）	ビジネス翻訳ⅡA		（ NKT24OA ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	高野　恵	時間数	30
成績評価教員	高野　恵	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄	なし	授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネス英語特有の表現や語彙を習得し、ビジネスメールなどの翻訳ができるようになる。
全体の内容と概要	ビジネス英語特有表現を学び、実際使っているメールなどを翻訳する。
授業時間外の学修	ビジネス特有の表現・語彙の復習をする。
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	Eメールの書き方・定型表現を理解できるようになる	Eメールの書き方・定型表現を学ぶ。
2	「品物がとどかない」クレームメールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
3	「品物が不足している」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
4	「品物が破損・不良品」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
5	「出荷の遅れを謝罪する」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
6	「品違いを謝罪する」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
7	「カタログの請求」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
8	「返事の催促」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
9	「配達の恐れへのお詫び」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
10	「支払いの催促」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
11	「添付ファイルの送付」メールを翻訳できるようになる	ビジネスメールの特有表現を習得し、訳し方書き方を学ぶ。
12	総復習①	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
13	総復習②	間違えやすい項目、定着していない項目を中心に復習する。
14	期末テスト	期末テスト
15	まとめと解説	テストＦＢ

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	肘井学のゼロから英文法が面白いほどわかる本
参考文献・資料等	入門ビジネス英語、書けるEメール・ライティング、英文ビジネスEメール文例集、Go Global
備考	

学校法人ISI学園　専門学校長野ビジネス外語カレッジ
2025年度　シラバス

1．本授業科目の基本情報

科目名（コード）	ビジネス翻訳Ⅱ		（ NKT24O ）
講義名（コード）	ビジネス翻訳ⅡB		（ NKT24OB ）
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース	単位数	2
授業担当者	木村　みゆき	時間数	30
成績評価教員	木村　みゆき	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2．本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	ビジネスで使われるメール・インフォメーション等を正確に理解し翻訳できるようにする。簡単なメールを英語で書けるようにする。
全体の内容と概要	TOEICのパート６・７の問題に取り組みながら、本文を日本語に書き換えてみる。英語でメールを書くために必要な語彙、形式を紹介する
授業時間外の学修	積極的にビジネスでよく使われる単語を覚える
履修上の注意事項等	なし

3．本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 （小数点以下切り上げ）	授業中の活動評価点 （5点を基準に加点・減点）

	評価	評価基準	評価内容
成績評価基準	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

４．本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	従業員に宛てたお知らせの文章・送り状を理解できる	お知らせの文を翻訳する。Invoiceの見方・書き方を学ぶ
2	ホテルのウェブページ・レビューが理解できる	レビューのサマリーを日本語で書いてみる
3	電話のメッセージの読み方・書き方を理解できる	メッセージの書き方を学び、実際にメモをとってみる
4	カメラの批評のweb ページを理解できる	それぞれのカメラの評価をまとめて書いてみる
5	割引広告・メールサーバー停止のお知らせを翻訳できる	日本語に翻訳してみる
6	meetingのアジェンダの読み方。作り方を理解できる	meetingのagendaを作り、staffにそれを知らせるメールを作成する
7	従業員に向けたstragetic planのe-mailを翻訳できる	e-mailを翻訳する。
8	車のディーラーからのお知らせとアンケートを理解できる	お知らせの書き方、アンケートの作り方を学ぶ
9	人事部からの職位に関するレターを翻訳できる	日本語に翻訳する
10	ツアーのiteneraryを英文で書ける	簡単なツアー日程を英語で書いてみる
11	会議の議事録を翻訳できる	会議の議事録を翻訳してみる
12	オフィススペースのレンタル広告を理解し返信できる	オフィスのレンタル広告をみてそれに対する返信を書いてみる
13	まとめ	復習・テスト対策
14	テスト	
15	テストFB	テストの解説

５．本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	公式TOEIC　Listening & Reading
参考文献・資料等	ビジネスで1番よく使う英語E メール
備考	